

会 議 報 告 書

件 名	令和５年度第１回八潮市学校教育審議会		
日 時	令和５年５月２４日（水） １５時００分～１６時４０分	場 所	八潮メセナ 集会室
出 席 者	八潮市学校教育審議会委員名簿のとおり（欠席 大熊委員、村田委員） 【事務局（教育委員会）】 井上教育長 猪原部長、高橋副部長、山内課長、和田課長、和田係長、沼田係長、市野川主任		
1 <u>開会</u> 2 <u>委嘱状交付</u> 3 <u>あいさつ</u> 井上教育長 4 <u>自己紹介</u> 5 <u>会長・副会長の選出</u> 会長に榎本委員が、副会長に近藤委員が選出された。 6 <u>諮問</u> 井上教育長より会長へ諮問書が手交された。 7 <u>議事</u> 今回の議事は下記のとおり。 (1) これまでの経緯について 今回の審議会で、新設小学校の校名等を検討することとなった経緯について、資料を基に説明した。 →意見なし。 (2) 今後のスケジュール（案）について 今後のスケジュール（案）について、資料を基に説明した。 委員からの意見・議論内容は下記のとおり (委員) シンボルツリーというのはどういうものですか。 (事務局)			

学校を象徴するようなメインの木として植えるものです。

(会長)

私は、大曽根小学校にいたが、大曽根小学校のシンボルツリーについては知りません。

(委員)

大曽根小学校にシンボルツリーがあるかは分かりません。

(委員)

大瀬小学校にシンボルツリーがあるかは分かりません。

(委員)

潮止中学校にシンボルツリーがあるかは分かりません。

(事務局)

補足ですが、既存の小中学校については、シンボルツリーを定めていません。今回新しい学校を建てるということで校門のあたりにシンボルになるような、木を植える計画になっています。その木がどういったものが望ましいのかを検討させていただければと思います。

(委員)

体操服は、市内の学校でそれぞれ違いますか。

(事務局)

市内の学校では、それぞれ違ったものを使用しています。

(委員)

大曽根小学校は、上が白で、下は青っぽい半ズボンを使用しています。

(委員)

大瀬小学校は、上は白で、下がえんじ色で、形状は、大曽根小学校と同じものを使用しています。

(委員)

潮止中学校は、上が白のTシャツのような感じで下が紫の色のハーフパンツで、1年生から3年生まで同じ色のものを使用しています。1年から3年で体操服の色をばらばらにする学校は減ってきていると思います。

(委員)

途中から新設校に通う子どもは、今通っている小学校の体操着が使えなくなるのか知りたいです。

(会長)

体操服の検討の時に改めて発言いただきますようお願いします。

(委員)

通学路の安全点検について、安全なところ、危ないところを出していきながら進めていくと思いますが、何を目安に、誰に聞きながら、この安全点検をしていきますか。

(事務局)

学校がない状態なので、学校以外のところで決めていかなければなりません。通学路の関係は学務課で、学校教育審議会に相談しながら、進めていくことになると思います。

(委員)

校名の募集について6月10日から開始予定となっています。6月10日は土曜日で学校は休みですが、なぜ10日から募集開始なのでしょう。

(事務局)

6月10日に関しては、広報やしおが毎月10日発行のため、そこに合わせています。子どもや保護者には基本的に10日以降にお配りしていただければと思います。ホームページ等にも10日に掲載してお知らせする予定です。

(会長)

ただ、この委員の皆様と検討しているのは、今後のスケジュールであり、事務局が6月10日の広報にのせると決めてしまう案でいることはいかがなものでしょうか。委員の皆様がお話をして校名を決めるので、スケジュールが伸びるかもしれません。この時期で伸びたら当然6月10日の広報にのらないわけなので、そこはあくまでも案ということによるのでしょうか。

(事務局)

すべて案なので、この案を本日、審議会の皆様で決めるということで考えています。

(委員)

校名、校章、シンボルツリーについては、なんとなくイメージが湧きますが、校歌についてはどうやって決めれば良いか疑問です。八潮市で1番最後の小中学校というのは、おそらく柳之宮小学校と潮止中学校だと思いますが、どういう形で校歌が設定されたのか、作詞作曲についてどのような形で決定されたのかということを調べていただけているのであれば紹介いただきたいです。

(事務局)

今後、会議で決め方について、ご相談させていただきたいと思っています。この場で作詞作曲をするということの想定ではなく、こういった形で誰に頼むのか。というところになると思います。全体スケジュールの中で検討期間を令和9年3月頃までということにしており、学校が開校してから児童と先生で曲を作っていくなど、いろいろなやり方があると思っています。今までのいろいろなケースをリサーチしましたが、伝手があり頼むという方法や、ゆかりのある方に頼む方法などの決め方があります。ただ、最近開校した学校が八潮市にはなく、ノウハウはない状況なので、いろいろな事例をまたお話して、次回以降の会議で、方向性を考えていければ良いと思います。

(会長)

今、話のあったいわゆる先行事例について、また改めてご説明いただければ、考えやすいと思います。

(委員)

校名を募集する際、学校の場所の住所の記載はしないのでしょうか。住所を参考にして考える方もいると思います。

(事務局)

現在の時点では住所をどこにするかというところが決まっています。底地の一覧があるので、その中の色々な地番が底地になっています。具体的には今の場所というのは古新田と圀の字境に近いところになっています。潮止中の敷地内で字境になっていて、潮止中の校舎の部分は住所が古新田だと思います。一方プールあたりから圀ということになり、新設小学校予定地はすべて大字でいえば圀ということになりますが、八潮南部西という区画整理地内になっていて、現実的には保留地という扱いで、住所が設定されていない状況です。ただ、一般的に保留地を買った人はどう住所をつけるかというと、その底地の一部を使って住所を設定しているので、まだ整備が完了しないうちに校舎が令和8年4月の段階でオープンとなれば、その前に住所を設定しなければならないので、大字圀の何番地で、おそらく住所を設定されることになると思います。ただ、また難しいところがあり、換地処分といって、南部の区画整理県施工の地域だが、これが終わった段階で新町名がふられるかもしれません。

例えば、八潮の駅前の辺りだと、元々、大瀬や伊勢野など、いろいろな地番が混ざっていました。それが東南部中央地域という区画整理の中では、八潮市大瀬一丁目から五丁目まで、それと茜町一丁目というような形で町名地番変更になっています。区画整理が終わった時に町名地番が変更になるということも含めて考えていかなければいけない部分もあるけれども、その辺りについては、まず校名は非常に大事なものであるため、地域に根ざした学校ということもあり、新設小学校に通うことになるだろう子ども達を含めて近隣の方など、市内全域から候補となる名前を募り、いろいろな案の中からこの場で整理しながら進めていければ良いと思います。この後ご説明させていただきます。(事務局)

(委員)

すごく複雑に入り組んでいる地域なので、校名で地番をとってくるというのは、確かに一理ありますが、私が昨日調べた中では、町名を学校名にしているところが、八潮市は15校中で3校しかありません。八條中、大瀬小、柳之宮小で、それ以外は町名を使っていません。その当時の数字で振られた小学校、中学校の学校名を変えようと、恐らく行われた審議会があったと思います。その中で町名のパワーバランスなどが関係しているのかもしれないかもしれません。大曾根小学校は圀ですが、圀小学校にはなっていません。八潮市内の学校と町名が違うところがあるので、名前を付けるにしても、難しいと思います。

今、教育委員会から説明をうけた町名を使っていくと、古新田と圀が入り組んでいて、町名が変わったらどうするのかという状況です。恐らくですが、事務局案に、公募で上位5番までを選んでいくと書かれていたので、その中で我々委員が意見を出し合って決めれば良いと思います。過去に町名を使ってないことに対しての理由は調べていますか。

(事務局)

当時のナンバースクール、いわゆる八潮第一小学校から第十小学校まであったものを、色々な名前に変えて、それより前と言えば、そのナンバースクールになる前に第二小は元々、潮止小でした。これは八潮の成り立ちからいいますと、もともと八条村、潮止村、八幡村、これが合併して八と潮をとって八潮になったということがあり、村ごとに1つの

学校がありました。その元々を生かして八條、潮止、八幡とそれぞれ小学校も中学校も残っていると思います。

緑町にある松之木に関しては、やはり緑町の区画整理で緑町ということになりましたが、松之木エリアも松之木や小作田などが入り組んでいたのも、代表を取っておそらく松之木にしたと思います。

中川小だけは少し変わっています。あの辺は中川という地名はありません。古新田、大瀬の区画整理をやっていて、その先を見据えたのかどうかも分かりません。いずれにしても、何かにちなんでこの名前にはなっていると思います。

公募をした場合、公募の中でも意見が出てきますので、そういった背景も調べて意見を精査する段階で少し判断材料にできれば良いと思います。昔のことなのでどの程度残っているかは分かりかねますが、「八潮の教育」の中に各学校の変遷がのっているのも、そういったものを参考にしていければと思います。

(会長)

検討する時に改めて説明をお願いします。

(委員)

議事3まで説明が終わってから質疑をしようと発言を控えていました。議事2で校名の話になって心配しています。

教育委員会が言った通りで、もともと3村で八条村、潮止村、八幡村に小学校が1校ずつあり、それに統合中学として八潮中学ができました。そこから人口が増えて学校ができてきて、数字で第一小から第十小となりました。区画整理の話が先ほどから出ていますが、仮換地の場合は確かに説明のあったとおりで、本換地になって初めて町名地番が新しくつきます。その時には先ほど話が出たように茜町の例や緑町の例などありますが、区画整理をすることによって、新しい名前がつけました。緑町は、もとは小作田でした。茜町も新しく区画整理をやってできた名前なので今ある地名地番にこだわっていくことは、一つの方法だと思いますが、議論がいろいろあります。校名選定については、説明を聞いていないので詳しく分かりませんが、資料に書いてあるような、市民から広く意見をいただく、おかしい学校名にならないようにするなど漠然とした話では分からないと思います。例えば択一式にして提示した中で選んでいただく。あるいは、学校の校風や、地域性を出すなどのコンセプトをはっきり示したほうが良いと思います。今後また議論する中で、方向性がないと校名にしても、シンボルツリーにしてもいつまでたっても収集がつかなくなるような印象を持ちました。八潮市の市の木、市の花などをご存じでしょうか。歌は、小椋佳が作っています。八潮中の校歌は、古関裕而が作っています。八潮市役所には、象徴として樺があって、多田市長のときに花桃に変えました。漠然としたことではなく、ある程度手段や方法を示さないと、なかなか意見がでないと思います。今後そういうことをしてほしいです。

(会長)

そうした方向性については、事務局の案もあるかもしれない。また、委員の皆様から、こういう方向性にしたいと提案していければ良いと思います。

少し私の意見を話します。皆さんの資料にも添付されている諮問書の最初のタイトルが「校名等の選定について」で「等」は今後のスケジュールで示されているシンボルツリーや校歌という解釈だと思います。教育委員会を代表して教育長から諮問書をいただいて大変言いにくいところではありますが、「選定」という文言については、サンプルがあって

その中でA、B、Cでどれにしようかというイメージがあります。

例えば、教科書の選定でもA社B社C社の教科書会社が教科書を作ってA社にしようかB社にしようか考えます。私は、学校教育審議会というのは、サンプルがいくつか示された中で、委員の皆様から意見をもらって決めるということではなく、自由闊達に意見をするものだと思います。最初に事務局から案の資料の提案や検討材料の提示ということはもちろんあると思いますが、別に事務局が提案したからといって、それに決まるとは限りません。たたき台はあってもいろいろ検討していく中で、委員の皆様から意見が出てくることが、この審議会の最大の趣旨だと思います。選定という言葉は、あまりにもこの審議会にとっては狭すぎると思う。私が言っていることは、文言がダメ、おかしいとか、そういうことではなく、ニュアンスを受け止めていただきたいです。資料の今後のスケジュール案についても、検討と決定という言葉しか出てきていません。選定なんてどこにも書いていません。どこにも言葉がないのに、諮問書の頭に選定がついています。学校教育審議会ではあまりにも狭すぎる中身だと思います。せめて、この諮問書のタイトルが校名等の検討・決定ということならば、このスケジュールにしているような気がします。諮問書をこの内容でいくと言え、それはそれで結構ですが、事務局にお任せするので、審議委員会の主旨のような会の重さのようなものは真摯に受け止めていただきたいです。

2つ目は、この学校教育審議会自体の趣旨というか責務は、審議会のタイトル通りで八潮市の学校の教育を審議する会だと思います。地番で決めます。というように、それだけでは、決めた背景が薄いような気がしてなりません。副会長から「子どもたちのために、この学校が新設される。」というお話が挨拶の中にありましたが、八潮市はこれまで様々な教育に取り組んできたと思います。まずこの校名やスケジュールを話し合う前に八潮市独自の特徴ある教育、例えば小中一貫教育などの特色ある教育を審議会で委員の皆様にご提示いただきたいです。

例えば校名をどうしようかと考えたときに、全国的に小中連携、小中一貫教育でやっている校名で、春日部であれば江戸川小中学校という学校があります。また、小中一貫教育をやっている学校にしてもキャッチフレーズや愛称のような形で、何々学園なども考えられます。正式に設置条例には何々小ということになるとと思いますが、教育に関わって、知った上で、検討したほうが良いと思います。小中一貫教育に連携していくのであれば、校章の場合、潮止中のマークを少し変えたものでも良いのではないかなど、いろいろ私達が意見を言うために、もっと教育に関わって、教育を知った上で検討していく方が、決定してもその背景はこういう理由で決めた、こういう今までの特色があるからこういうふうにしたなど、皆様が意見を言った上で決まっていくような気がします。このスケジュールの前に提案ですが、時間をかけて八潮の教育について話を聞いた後に、皆様にまたもう一回質問など考えていることを一人ひとりに言っていただき、その上で検討していきたいです。子どもの数が増えて、住民が増えて新しく学校を作りましようとなった本当の新設校なので夢があると思います。そして、新設校での特色について話したいです。特色は難しいことではなく、「うちの孫は家に帰ると、言葉遣いが悪くて、新設校でぜひ思いやりのある言葉が発せられるような教育をしてもらいたい。」「旗振りをしていると子どもたちが挨拶してくれて、とても気持ちが良いことなので、新設校では地区の方にも気持ちの良い挨拶ができる学校にしたい。」「今までの教育の延長として、一層こういうものをしてもらいたい。」などを話して校名や校章を決める方が、夢が語れるような気がします。学校教育審議会は将来、未来を生きる子どもたちを担う教育はどういう教育が良いのか、それに携わって校名やシンボルツリー、校歌はどのようなものが良いのかなどの夢を語るのがこの審議会な気がします。場合によってはこの審議会で、ジャージまで決める必要はないと思います。保護者にしてみれば、少し高くて丈夫なものが良いという保護者もいる

かもしれませんし、毎日、洗濯するのだから安価のほうが良い保護者もいるかもしれません。それをこの夢を語る審議会で決定するのは本当に良いのかどうか。話のテーブルに上げるけれども、具体的な細かいところは学校にマネキンを置いて投票が良いのではないのでしょうか。そういうところがこの審議会で良いと思います。これは私見ですが、まず今までの教育についてご説明いただきたいです。

(委員)

この委員に選ばれてからいろいろと考えている中で、例えば、小学校を作ることは、40数年ぶりで新しい学校ができるということで、恐らく40数年前、学校をつくることに対して携わっていた方は、もしかしたらいらっしゃらなかったり、記憶もうすらいだりしているかもしれません。それほど年数が経っているものなので、なかなか過去どうだったのかを掘り返して考えようと言うことにはならなくて、まさに会長がおっしゃられるように、突拍子もないような、例えば小学校の根源を英語にして、何々エレメンタリースクールのような英語の名前でも良いと思います。このほかに、例えば数年ぶりのチャンスなので、地域の人が2億円寄付してくれたら名前の一部を学校名に入れられるようにしたり、地域の人に寄付していただけるようにして、額が小さければ給食を配膳するために設置されるエレベーターの名前に一部入れられるようにするなどの意見が出て良いと思います。こんなことやったら面白いという意見を出していき、この審議会を活発にしていきたいです。会長から内容を少し砕いていただいたので、本当に住所や地名などに囚われすぎないで決めた方が良いと思います。

(会長)

時間がないから、話を進めていっても構いませんが、今のスケジュールで審議に入る前に、八潮の教育について事務局からご説明いただいてよろしいでしょうか。

(委員)

新しい学校に関する会議に何回か参加しましたが、子どもたちが教室からあふれるから早く学校作らなければならない、子どもたちを収める場所を作らなければならないというイメージで、学校の会議に参加してきたのですが、会長の話を聞いて、夢を描くということにすごく感動しました。子どもたちを収める場所ではなくて、子どもたちがそこで何を学んで、どんな人間づくり、友達作りをして、どんな大人たちに関わっていくのか、一人ひとりが楽しみながら行きたいと思えるような学校にするため、私たちは代表として考えていかなければならないと思います。

新しく学校が誕生することについて、自分の出産のことを思い出しました。生まれる時に子どもにこんな子になってもらいたいから、名前をつける。皆さん、親であれば、すぐ夢を描いて、子どもに名前を付けたと思います。そんな気持ちで名前を付けたら、もっともって八潮の方たちが親しみを込めて学校を大切にしてくれると思います。

教育は、平等だと思います。教わること、学校の中で生活することは平等だと思います。しかし、特色というのは、少し違うと思います。学校それぞれにあると思います。例えば、私は大瀬小と関わっていますが、大瀬小のイメージはいろいろな子どもがいて、先生たちが若くていつもフレッシュで、子どもたちの元気が良いと思います。このような特色がそれぞれありますが、新しく学校を作るにあたり、教育委員会の皆様はどんな学校にしたいのか、どんな学校を目指しているのかというところを、もっとはつきりと出しても良いと思います。言えないことはあると思いますが、例えばもっとITに力をいれたり、英語に力を入れたり、それぞれあると思います。校名を募集するのであれば、いろ

いろな名前が出てくると思いますが、感動するような名前が少なくなってしまうように、言える範囲で応募用紙に記載するべきだと思います。教育委員会として考えていること、どんな学校にして行きたいのか、特色として目指すことなどを、地域の方や私たちに提示していただきたいです。

(会長)

教育委員会が提案することもあると思います。しかし、学校教育審議会なので教育委員会がこういう特徴がある学校をつくりたいと言う前に、私たちがこういう夢のある学校を作ってほしい、こういう特色ある教育をしてほしいということを皆さんに言ってもらい、それを事務局に聞いていただきたいです。私たちが提案をして、その上で教育委員会が教育長をトップとする教育委員会事務局では決まらないと思うので、私たちが言った意見は、いわゆる定例の教育委員会という組織で決めると思います。教育委員会側から、ぜひこういう特色ある教育をしてもらいたい。という意見が出ると思います。それをまた審議会に投げかけることになります。それがこの審議会の重さだと思います。

(委員)

学校名をそんなに早く決めなければいけないのでしょうか。このスケジュールで行くと、来月募集が終わってしまって、私たちは本当に更地の状態の土地を見ながら、学校がどういう学校かもイメージが漠然としたまま考えて決めなければならなりません。皆さんがおっしゃったように、奇抜なものが出てきたり、町名を優先する偏った考え方はどうしても出てくると思います。もし変更できるのであれば、校名はもう少し校舎の工事が始まって建つ様子を見ながら考えていけたほうが子ども達もイメージしやすく、考えやすいと思います。第2回の時には募集が終わっている状態というのはいかがなものかと思います。私がここに来て校名を考えていく意味はどこにあるのかなと思いました。このスケジュールは決定であり、変えられないものですか。

(事務局)

校名の決定の時期ですが、事務局で考えたものが、校名を一番先に決めて、その後、校章を経て体操服を検討してくスケジュールになっています。決定しているのかと言われると、あくまでの案なので決定したものではありません。スケジュールを設定することについては、非常に大きな建物になりますと、例えば国から補助金をもらう部分があり、国に補助金を申請する際のリミットも関係しています。建設を行う教育総務課とだいたいこういうスケジュールで、校名案のスケジュールを決めました。令和5年10月というのは、学務課だけの都合ではありません。ただ、スケジュールは案であり、決定しているものではありません。大分前に作ったスケジュールなのでこのスケジュールをどのぐらいまで伸ばせるのかについて、確認していきたいと思います。

(会長)

事務局の都合は分かります。しかし、それはあくまで事務局の都合です。学校教育審議会、予算や建設のスケジュールから進めるということは、事務局の都合であって、スケジュールが決まっている上で、何通りかの中で検討して決めてくださいというのであれば、校名を決めるだけなので、審議会ではなく、校名決める委員会みたいなものを新たに作って、そこで校名を決めれば良いと思います。この会議は、どういう教育をしていくのか、どういう特色がある教育をするのかということを検討することが一番根本です。先ほどの委員の意見はスケジュールありきなのかというご意見だと思いますが、事務方からの

建設や開校のおしりが決まっているという都合があるのは説明を聞いて分かりますし、できる範囲の中で、当然進めていきたいことは重々分かります。ただ、事務局の都合でこのスケジュールで最低このぐらまでの期間で決めてほしいと言われても、教育の特徴、特色について皆さんで考えると2回も3回もかかるかもしれません。いろいろな意見が出たらそれを事務局がまとめるのが大変で、多分まとめた上で、再度検討していくことになります。新設校でどういう教育を行うかということは、根本です。なぜかというと子どもたちの将来に関わってくるからで、それを私たちが審議することは、非常に重いことです。それを、お金がどうの、校門にシンボルツリーを植えるスペースがあるからシンボルツリーを決めてくれという話はいかがなものかと思います。校門の横のシンボルツリーを植える予定のところに、とりあえず、チューリップかなんか植えておいて、例えば、みんなで考えた校歌が12月1日に決まったのであれば、12月1日を開校記念日にして、記念樹を植えましょう。それがシンボルツリーですと決めて良いと思います。この審議会で、そういうスケジュールありきで決定、いわゆる選定してくれということは、失礼だと思います。それだけ重い審議会だと思います。言ってみれば新設校の教育方針で、教育指針です。文科省が働き方改革で、中央教育審議会に諮問したものと同じだと思います。中央教育審議会でも細かい教育課程は検討しません。ゆとり教育をどうしようか、学力がOECDで低いから、知識をもっと増やしましょうという、大きな話をするのが審議会だと思います。そういう教育の話をするにしても、八潮のこれまでの教育を私たちは聞くことが必要だと思います。こういう会議でないと改めて市の取り組んできたいいろいろな教育行政については、聞けないと思います。

(副会長)

皆様から選んでいただいた会長のお話が皆さんに響いていると思います。スケジュールは、あくまで予定という形で事務局が示しているので、とっかかりとして、八潮の特色ある教育はこういうものだとか自慢できるところの話を聞き、理解した上で、それを土台に進めていきたいです。

(会長)

事務局の方には、ご多用の中、大変恐縮ですが、これまでの八潮市の教育の特色をプレゼンでご提示いただきたいです。小中一貫に関わる部署の方、小中一貫以外の指導課などをお願いしたいです。ギガスクール構想に基づいた取り組みなど、多分学校教育部にほとんど関わってくると思います。プレゼンをして、質問していただくだけで、結構時間がかかります。1時間で構わないと思います。それが終わった後に一回プレゼンについて質疑して、その次の会議で、委員の皆様からうちの子どもに、こういう教育をしてもらいたいなどの考えを、一言でも二言でも言ってもらい、それを事務局でまとめた上で、校名を検討するスケジュールにしたいです。スケジュールは当然伸びます。審議会の回数が増えると思いますが、このようなスケジュールでよろしいですか。

(事務局)

今、会長からご意見があった日程については、皆様のご都合もあると思うので、基本は、3ページに記載してある1回から4回というスケジュールの時には、皆様が都合を付けられるように決めておいた方が良いでしょう。ただ、中身については、この第2回と書かせていただいた7月12日の時に、会長からご提案があった八潮の教育について少しお話をさせていただいて、皆様からお考えを確認させていただきたいと思います。2回目以降の間に校名等の方もある程度進めていかなければならないので、もう1回増やしていただ

いて、進められるようにできれば良いと思います。その先のスケジュールについては、第2回の時に改めてもう1回ご提案させていただきます。まずは第2回の7月12日の時に八潮の教育ということについて触れさせていただいた上で、併せて調整させていただければと思いますが、よろしいですか。

(会長)

審議会の回数が1回多くなります。ただ、次回は7月12日で決まりです。日にちは、今提示されている日程の他に、もう1回増やしていただきます。第2回は教育について話を聞きます。その時にスケジュールはまた示されるということで進めて行きます

(委員)

次は、こちらが勉強させてもらう回ということでよろしいですね。私は、学校の施設建設委員会にも入っていて、多分こちらにいる方は、イメージができるような図面を多分見ないと思います。図面もA3などで作っていただき、詳しくなくて良いと思うので新設小学校について説明してほしいです。皆さんが思っている小学校、中学校の廊下の幅の倍以上あったり、近代的な設備を備えているような新しい学校が作られる予定で進んでいます。皆さんがイメージしているような、小学校、中学校という学校ではないというところも、説明をしていただいたほうが、校名に反映しやすいと思います。本当に5分程度で良いと思いますので、説明をお願いします。

(事務局)

教育関係と共に現在進めている学校のイメージが分かるような形で一緒に説明させていただきます。

(委員)

資料の表紙に学校とシンボルツリーが描いてあると思います。もう少しゾーニングが分かれば、学校のイメージがはっきりすると思います。ソーラーパネルが資料の表紙の少し右の上の方に見えますが、壁面緑化などがこの写真だと全然読めません。すべて読む必要はないですが、建物のイメージで校風なども出てくると思います。八潮のまちづくりは緑と道などが一つのキーワードになっています。学校もしかりだと思います。緑被率やゾーニングがある程度分かれば、それをどうやって具現化していくかが出てくると思うので、イメージしやすいと思います。

(事務局)

教育総務課で、建設を考えている図面などを確認して、できるだけイメージしやすいような方向で進めたいと思います。

8 その他

事務局より、本日の会議内容について教育委員会で報告することを伝えた。
また、次回の日程について連絡をした。

9 閉会 近藤副会長